


協働学習  
支援ツール  
【小・特別活動】

# 大型提示装置・アンケート機能

小学校 第5学年 学級活動

「運動会 中間振り返り」

- (1) ねらい 運動会の学年種目への取組について振り返る活動を通して、自分たちの実態に合わせた対策を話し合い、解決策を決めることができる。
- (2) 評価規準 学年種目の取組がよりよくなるために、成果と課題や解決策を考え、話している。(思考・判断・表現)
- (3) 学習展開 (2/4)

過程	学習活動	教師の指導・援助(留意点)
導入	<p>1 はじめの言葉</p> <p>2 自己紹介 司会2名 黒板書記1名 ノート書記1名</p> <p>3 議題と提案理由の確認 議題「運動会に向けての中間振り返り」 提案理由「団結 Piece (学年種目) みんなで協力して勝つためには、どうしたらよいか話し合いたい。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スムーズに進行できるように事前に班長会(計画会)を開き、役割の確認や提案理由等を話し合っておく。</li> <li>学級全員にも議題、提案理由、めあて、決まっていることを伝えて見通しをもたせる。</li> </ul>
展開	<p>4 話合いのめあてと決まっていることの確認</p> <p>5 話合い①「理由と対策」 ・練習が足りない。 →休み時間に練習する。 学級遊びで練習する。 早く結ぶ練習をする。 ・タイミングが合わない時がある。 ・かけ声が小さい。言っていない。 →大きな声で掛け声を言う。 ・真剣に取り組めていない人がいる。 →声をかけられたら反応する。 →休憩はちゃんと休んで、やるときはやる。 →励ましの声を増やす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動の様子を提示し、これまでの成長と現状を具体的に示す。</li> <li>本時の議題は、運動会の取組を通して、学級目標の達成に近づくための話合いであることを確認する。</li> <li>議題に対し、自分の考えを発表するように促す。</li> <li>黒板書記は、理由と対策を分けて書くように促す。</li> <li>司会に意見をまとめ、質問がないか確認するよう促す。</li> </ul>
終末	<p>6 話合い②「これから取り組むこと」 話合い①で出た意見を基に自分の意見を整理し、合意形成を行う。 ・練習をする。作戦会議をする。 ・仲間の声かけに反応する。 ・みんなで楽しく練習できるようにもっと励めます。</p> <p>7 決まったことの確認</p> <p>8 話合いの振り返り(タブレット活用)</p>  <p>9 先生の話</p> <p>10 終わりの言葉</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【ICT活用の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フォーム(アンケート機能)を使って、項目に沿った振り返りを行い、即時に集計結果が開示できるようにする。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【ICT活用の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フォーム(アンケート機能)の集計結果を視覚的にグラフで示すことで、教師の話とグラフをリンクさせ、具体的な話ができるようにする。</li> </ul> </div>

【検証：期待される学習効果】

- 本時の授業(学級会)の振り返りを、各項目で選択肢を設けて行うことで、本時の話合いがどうであったのか、即時に数値で判断することができ、学級全体として視覚的に捉えることができる。また、記述のみの振り返りとは違い、書くことに苦手意識をもっている児童にも有効である。
- 視覚的にグラフで示すことで、学級の実態と関連付けた教師の価値付けができる。よって、教師の話に具体性が生まれ、より深みのある価値付けができる。また、今後の学級会の在り方(今後の課題)が明確になり、方向性を共通理解することができる。